

授業評価シート（評価づくり部会）

月 日	11月19日（木）	学 級	3年〇組	授業者	
教 科	数学科	単元名	平行線と線分の比	参観者	

本時の主眼
△ABCの∠Aの二等分線と辺BCの交点をDとすると、 $AB:AC=BD:DC$ であることを証明するために、平行線をひき、相似な図形の性質を利用して証明することができる。
生徒に提示する評価のものさし
A：線分の比の関係について、図形の性質を明らかにして証明することができる。 B：線分の比の関係について、証明の方針をかくことができる。

本時の授業を参観されて、評価の欄に以下の4つからあてはまると思う数字を一つ記入してください。

【 4 よく見られた 3 見られた 2 あまり見られなかった 1 見られなかった 】

I 「提示する評価のものさし」に関して(導入)

本時における生徒の姿	評価	改善点
生徒は評価のものさしの内容を理解(A・B 基準の共通点や違いに気づいている)することができる。		
【具体的な様子・場面】		

II 「評価のものさしの効果」に関して(展開)

本時における生徒の姿	評価	改善点
評価のものさしが生徒の実態に合っており、生徒は評価のものさしを意識し、何が必要かを考えながら、意欲的にめあての達成を目指して取り組んでいる。		
【具体的な様子・場面】		

III 「評価のものさしによるメタ認知」に関して(まとめ)

本時における生徒のまとめ	評価	改善点
振り返りを通して、生徒が自身の学習状況について根拠を持って評価し、把握することができる。		
【具体的な様子・場面】		